

令和8年度 都立橘高校 定時制課程  
年間授業計画 三修制

橘高等学校定時制 令和8年度 教科公民 科目政治・経済 年間授業計画

教科 : 公民 科目 : 政治・経済 単位数 : 2単位

対象学年組 : 第2学年 三修制

教科担当者名 : (2年三修制 )

使用教科書 : (最新政治・経済 実教出版)

使用教材 : (自作プリント )

科目 政治・経済 の目標 : 日本の政治制度や市場経済の機能について学び、よりよい社会の実現に向けて主体的に解決する力を身につける。

| 【知識及び技能】                        |  | 【思考力、判断力、表現力等】  |   | 【学びに向かう力、人間性等】                          |   |   |          |
|---------------------------------|--|---|---|---|---|---|----------|
| 現代社会の基本原則を理解し、資料等から諸課題についてとらえる。 |  | 現代社会の諸課題について自分の意見を持ち、課題解決に向けて考える。                                 |   | 現代社会で起こっている事象に関心を持ち、よりよい社会の実現を目指す態度を養う。 |   |   |          |
|                                 | 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容   | 評価規準  | 知                                       | 思 | 態 | 配当時数     |
| 1<br>学期                         | ○民主政治の基本原則を学び、国民の政治参加について理解する。<br>○国会、内閣、裁判所と三権分立について概略をとらえる。<br>○日本の選挙制度について学び、現在の選挙における課題を資料から読み取る。  | 現代国家と民主政治<br>○民主政治の基本原則<br>日本の政治制度と政治参加<br>○日本の政治機構<br>○政党政治と選挙制度 | 【知】民主政治の基本原則を学び、国民の政治参加の方法を理解している。<br>【思】日本の選挙制度と選挙における課題について自分の考えをまとめている。<br>【態】よりよい社会の実現に向けて、政治を通して主体的に行動することや解決の方法を考えようとしている。  | ○                                       | ○ | ○ | 10<br>14 |
| 2<br>学期                         | ○市場経済における価格の変化を市場の原理から理解する。<br>○株式会社のしくみと企業の社会的責任について理解し、企業の活動が社会問題の解決につながることをとらえる。<br>○市場経済で貨幣が担う役割としくみを理解する。<br>○政府の経済活動の機能をとらえ、その課題について考える。 | 現代の経済社会<br>○価格と市場の役割<br>○株式会社のしくみ<br>○貨幣の役割と金融<br>○財政の役割と課題       | 【知】市場経済における価格の変化を市場の原理から理解している。市場経済で貨幣が担う役割と金融のしくみを理解している。<br>【思】政府が行う経済活動の機能についてとらえ、歳入と歳出のバランスから持続可能な財政の在り方について自分の考えをまとめている。<br>【態】身近な株式会社の具体例から、投資によって企業を通して社会的課題を解決に導く方法を意欲的に追及している。 | ○                                       | ○ | ○ | 28       |
| 3<br>学期                         | ○消費者の権利、労働者の権利、社会保障制度の概要を理解する。<br>○消費者問題の具体例から、自分が消費者問題にあった場合、どのように解決することができるか考える。<br>○日本の社会保障と財政の関係を資料から読み取りその課題についてとらえる。                     | 現代の日本経済と福祉の向上<br>○消費者問題<br>○労働問題と労働者の権利<br>○社会保障の役割と課題            | 【知】消費者の権利、労働者の権利、社会保障制度の概要を理解している。<br>【思】消費者問題の具体例から、自分事としてとらえ、消費者問題にあった場合の解決方法について、自分の考えをまとめようとしている。<br>【態】日本の社会保障制度の内容、社会保障と財政の関係を資料から読み取り、今後の社会保障の在り方について課題解決の方法を考えようとしている。          | ○                                       | ○ | ○ | 18       |
| 配 当 合 計 時 間                     |  |   |   |   |   |   | 70       |

橘高等学校定時制 令和8年度 教科産業 科目情報演習（2年） 年間授業計画

教科 科： 産業 科目： 情報演習（2年） 単位数： 2単位

対象学年組： 第2学年 三修制

教科担当者名：（2年三修制 ）

使用教科書：（なし ）

使用教材：（自作プリント等 ）

科目 情報演習 の目標：産業科として、多様なビジネスシーンに役立つ情報の収集、処理、分析、表現と活用について考え、理解させる。  
また、具体的にアプリケーションソフトやプログラミング言語などを使いそれらを実務的に行う技術や力を養う。

| 【知識及び技能】  |   | 【思考力、判断力、表現力等】   |  | 【学びに向かう力、人間性等】                                      |   |      |              |
|---|---|--|--|---|---|------|--------------|
| ・ビジネスシーンに応じた情報の収集、処理、分析、表現を行うことができる知識や技術を身につけさせる。 |   | ・ビジネスに関する情報を論理的に考えさせる。<br>・収集した情報を必要に応じて活用し、的確に判断して表現できるようにする。   |  | ・主体的に学習に取り組むことができるようにする。<br>・他者の意見をよく聞くことができるようにする。 |   |      |              |
| 単元の具体的な指導目標                                       | 指導項目・内容   | 評価規準   | 知  | 思   | 態 | 配当時間 |              |
| 1<br>学<br>期                                       | 課題に則して情報を収集し、それらをもとに適確な資料を作成したり、プレゼンテーションしたりする力を身につける。  | ・指導項目<br>課題に則した情報の収集と表現<br>・教材<br>自作プリント<br><br>表計算ソフト（EXCEL）<br>・一人1台端末の活用（Teams Forms など）                                | 【知】・情報の収集と分析の意義、種類について理解している。・データとデータベースの基礎知識を理解している。・表計算ソフトウェアの基本的な使い方ができる。<br>【思】・場面に応じたプレゼンテーションソフトでの作成ができる。・場面に応じたプレゼンテーションソフトウェアでの表現ができる。・基本的な関数の利用やグラフ作成ができています。<br>【態】・場面に於いて、積極的に考えることができる。・自分の意見を他者に的確に伝えようとしている。・他者の意見や発表をよく聞こうとしている。・課題に対して具体的に考え、理解しようと取り組んでいる。・場面に於いて、関心を持ち積極的に取り組んでいる。・協働的な学習を通じ、課題を解決しようと取り組んでいる。 | ○   | ○ | ○    | 8<br><br>16  |
|   | 課題に則して情報を収集し、それらをもとに更に適確な資料を作成することによりビジネスシーンに役立てる力をつける。 | ・指導項目<br>企業活動の現状と関連するモラルや法規<br>・教材<br>自作プリント ネット教材（関連するサイトや公開されている検定過去問題など）<br>表計算ソフト（EXCEL）<br>・一人1台端末の活用（Teams Forms など） | 【知】・情報の意義と役割について理解している。・情報社会とモラル、法規について理解している。<br>【思】・情報社会と法規について、身近な問題を具体的に考え、判断することができる。応用的な関数や応用的なグラフ作成について理解し利用できている。・個人情報や知的財産の保護について具体例により考え、判断することができる。<br>【態】課題に対して具体的に考え、理解しようと積極的に取り組もうとしている。・協働的な学習を通じ、課題を解決しようと取り組んでいる。  | ○   | ○ | ○    | 12<br><br>16 |
| 3<br>学<br>期                                       | プログラミングについて基礎知識を理解する。                                   | ・指導項目<br>プログラミングと表現<br>・教材<br>自作プリント<br>（JavaScript microbit など）   | 【知】プログラミングについて基礎知識を理解している。<br>【思】基本的なプログラミング言語について理解し利用できている。<br>【態】基本的なプログラミング言語について理解しようとしている。   | ○   | ○ | ○    | 18           |
|   | 配 当 合 計 時 間   |  |  |   |   |      | 70           |

橋高等学校定時制 令和8年度 教科産業 科目ビジネス演習 年間授業計画

教 科： 産業 科目：ビジネス演習 単位数：2単位

対象学年組： 第2学年 三修制

教科担当者名： (2年三修制 )

使用教科書： (商品開発と流通 実教出版 )

使用教材： (自己作成プリント )

学習の到達目標：商品開発とマーケティングについて実務に即して体系的に理解し、基礎知識を活用しながら商品開発等について考案することができる。

| 【知識及び技能】                                |  | 【思考力、判断力、表現力等】   |   | 【学びに向かう力、人間性等】                         |   |      |          |
|---|--|--|---|--|---|------|----------|
| 商品開発の基礎知識を身に付ける。<br>マーケティングの基礎知識を身に付ける。 |  | 商品開発やマーケティングの基礎知識を活用しながら、商品開発について自ら考えることができる。                      |   | 商品開発やマーケティングの学習に対して、主体的に学習に取り組もうとしている。 |   |      |          |
| 単元の具体的な指導目標                             | 指導項目・内容  | 評価規準   | 知   | 思                                      | 態 | 配当時数 |          |
| 1<br>学期                                 | ヒット商品や定番商品などの商品開発について調べ学習を行い、商品開発の意義と手順や流通について基本的なことを理解する。             | 商品開発の意義と重要性<br>流通の基礎的な仕組み  | 【知】商品開発や流通について概要や要点を理解している。<br>【思】商品開発について考案することができる。<br>【態】商品開発や流通について正しく理解しようとしている。   | ○                                      | ○ | ○    | 8<br>16  |
| 2<br>学期                                 | 商品の企画の意味や目的を理解し、要点を理解する。<br>商品開発に必要な意思決定や分析手法について理解する。<br>SWOT分析、3C分析等 | 環境分析<br>市場調査<br>商品コンセプト<br>商品のライフサイクルや競争上の位置付けを明確にして商品開発の方針を決定するなど | 【知】商品の企画や各種手法の意味を理解し、概要や要点を捉えることができる。<br>【思】SWOT分析などの手法を使って、商品の企画や提案をすることができる。<br>【態】商品を取り巻く環境等に関心を持ち、自ら進んで学習し、課題に取り組もうとしている。 | ○                                      | ○ | ○    | 12<br>16 |
| 3<br>学期                                 | 商品とデザインについて理解し要点を捉えることができる。  | 商品のデザイン<br>ポスター作成  | 【知】商品のデザインやポスターなどの目的や技法を理解し、基礎知識を身に付けている。<br>【思】商品のデザインやポスター作りについて考案することができる。<br>【態】商品のデザインやポスター作りに関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。      | ○                                      | ○ | ○    | 18       |
| 配 当 合 計 時 間                             |  |  |   |  |   |      | 70       |

橘高等学校定時制 令和8年度 教科 産業 科目ものづくり理論 年間授業計画

教科 : 産業 科目 : ものづくり理論 単位数 : 2単位

対象学年組 : 第2学年 1組 三修制

教科担当者名 : (2年三修制 )

使用教科書 : (なし )

使用教材 : (関数電卓、各工業製品・部品、工具類、補助プリント )

目 標 : ものづくりに興味・関心を持ち、発言や手順を考え、他者と協働して取り組めること。

産業に関する歴史を学び、工業材料の知識を身に付ける。

計算技術検定合格を目指す。

真鍮の加工を通して、金属の性質・金属加工の基礎を習得する。

産業科の科目として販売を視野に入れ作品作りを行う。

| 【知識及び技能】  |   | 【思考力、判断力、表現力等】   |  | 【学びに向かう力、人間性等】   |   |   |      |
|---|---|--|--|--|---|---|------|
| 工業で使用される材料について基本的な知識を習得するとともに、製造方法等の理解を深める。最後まで諦めずに理解する聞く力を身に付ける。 |   | 各製品・部品の働き・製造にともなう説明を的確に把握し、考察を深めるとともに、ものづくりに関する知識と製造技術を活用しながら説明する力を身に付けている。      |  | 各製品・部品の製造過程に興味・関心を持ち、ものづくりの基本を理解し、より良いものづくりを目指して主体的に学習に取り組もうとしている。 |   |   |      |
| 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容   | 評価規準   |  | 知  | 思 | 態 | 配当時数 |
| 1<br>学<br>期   | ・工業材料の基礎知識<br>【知】金属の基本的知識を身に付ける。<br>【思】成分による性質の変化を理解する。<br>【学】材料について理解を深める。         | ・人類の進化と道具の利用<br>・金属利用の歴史<br>鉄、銅、アルミの製造方法<br>合金の性質・加工方法・熱処理<br>・動力の利用<br>・原動機について | 【知】作業に対して発言やノートを取り、理解を深めようとしている。<br>【思】基本的な働きを理解しようとしている。また、より良い利用方法を考察しようとしている。<br>【学】興味・関心を持ち、他者を理解し、協働して取り組もうとしている。 | ○  | ○ | ○ | 25   |
| 2<br>学<br>期   | ・計算技術検定の資格受験<br>【知】電卓の基本操作を身に付ける。<br>【思】基本的な計算方法・式の操作を身に付ける。<br>【学】設問に対応する応用力をつける。  | ・四則演算<br>・集計計算<br>・実務計算  | 【知】計算問題解説に対して発言やノートを取り、理解を深めようとしている。<br>【思】手順通りに計算しようとしている。またはより良い方法を考察しようとしている。<br>【学】興味・関心を持ち、他者を理解し、協働して取り組もうとしている。 | ○  | ○ | ○ | 25   |
| 3<br>学<br>期   | ・金属の性質<br>【知】真鍮の基本的性質を習得する。<br>【思】安全な製作作業を習得する。<br>【学】丁寧な作業で作品を製作し、準備・片付けなどを協力して行う。 | (真鍮加工)<br>・道具の準備、片付け<br>・器具の取り扱い<br>・加熱する際の安全作業                                  | 【知】作業に対して発言やノートを取り、理解を深めようとしている。<br>【思】基本的な工作法を理解しようとしている。また、より良い方法を考察しようとしている。<br>【学】興味・関心を持ち、他者を理解し、協働して取り組もうとしている。  | ○  | ○ | ○ | 20   |
| 配 当 合 計 時 間   |   |  |  |  |   |   | 70   |

橘高等学校定時制 令和8年度 教科国語 科目三修制国語表現 年間授業計画

教科 : 国語 科目 : 三修制国語表現 単位数 : 2単位

対象学年組 : 第3学年 1組

教科担当者名 : (3年三修制 )

使用教科書 : (国語表現 大修館書店 )

使用教材 : (自作プリント )

科目 三修制国語表現 の目標 : 様々な表現方法を用いて、自己の考えを他者に伝える力を養う。原稿用紙に書くこと、メールで伝えること、スピーチやプレゼンテーションを行うことにより、実社会で必要な表現力を身に付ける。

| 【知識及び技能】                                |   | 【思考力、判断力、表現力等】  |  | 【学びに向かう力、人間性等】                                       |   |      |    |
|---|---|---|--|--|---|------|----|
| 主体的・対話的で深い学びを通して、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 |   | 論理的に考える力、他者に共感する力、想像する力を伸ばし、言葉で伝えあう力を高める。                   |  | 現代社会における多様な話題・題材に対して興味を持ち、言語活動を通して、主体的に学習する態度を身に付ける。 |   |      |    |
| 単元の具体的な指導目標                             | 指導項目・内容   | 評価規準  | 知  | 思  | 態 | 配当時数 |    |
| 1<br>学期                                 | ○「自己の高校生活（過去）」、「社会人としての自己（未来）」について、まとめる。<br>○社会生活に必要な漢字を学習する。 | ○過去・未来の自分について、文章化する。<br>○プリント学習により、漢字力を身に付ける。               | 【知】漢字を適切に読み書きできる。<br>【思】過去・未来における自己の在り方について、適切に文章化できる。<br>【態】適切な日本語を用いて、自己の在り方を表現する。             | ○  | ○ | ○    | 24 |
| 2<br>学期                                 | ○自己の現在、及び社会的な問題について文章としてまとめる。<br>○社会生活に必要な漢字を学習する。            | ○現在の自己、社会的な問題について、自己の考え方を論理的に表現する。<br>○プリント学習により、漢字力を身に付ける。 | 【知】文章表現において、漢字を適切に使用できる。<br>【思】現在の自己の在り方及び社会的な問題について、適切に文章として表現できる。<br>【態】社会における自己の在り方を論理的に表現する。 | ○  | ○ | ○    | 28 |
| 3<br>学期                                 | ○今まで培ってきた国語力を用いて、実践的な文章読解を試みる。<br>○社会生活に必要な漢字を学習する。           | ○問題演習を通して、自己の国語力の向上を図る。<br>○プリント学習により、漢字力をより一層向上させる。        | 【知】論理的な文章を読解し、それについての意見を表現できる。<br>【思】文章から読み取れる社会的な課題について、自己の意見を論理的に表現する。<br>【態】文章読解に積極的に取り組む。    | ○  | ○ | ○    | 18 |
| 配 当 合 計 時 間                             |   |   |  |  |   |      | 70 |



橋高等学校定時制 令和8年度 教科 保健体育 科目 体育 年間授業計画

教科 科 : 保健体育 科目 : 体育 単位数 : 1 単位

対象学年組 : 第3学年 1組 (三修制選択者)

教科担当者名 : (3年三修制 )

使用教科書 : (現代高等保健体育 大修館書店 )

使用教材 : (体育器具 )

科目 体育 の目標 : 生涯にわたって心身の健康の保持増進を目指し、豊かなスポーツライフを送れる資質と能力を養う。

| 【知識及び技能】  |   | 【思考力、判断力、表現力等】  |   | 【学びに向かう力、人間性等】   |   |      |    |
|---|---|---|---|--|---|------|----|
| ・運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を継続できるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身につけている。 |   | ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 |   | ・生涯にわたって継続して運動に親しむため、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にするとともに、健康・安全を確保している。 |   |      |    |
| 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容   | 評価規準  | 知   | 思  | 態 | 配当時数 |    |
| 1<br>学<br>期   | ・柔軟運動、体幹トレーニングを行い、柔軟性向上・体幹を強化する(体づくり運動)。<br>・自分のペアや相手のペアの特徴に応じた作戦をたて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、各種ストローク、サーブなどの安定したボールの操作や、ダブルスにおけるパートナーとの連携した動きを高めて、ゲームを展開できるようにする(バドミントン・卓球)。 | ・体づくり運動<br>・バドミントン<br>・卓球   | 【知】 自己の狙いに応じ効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、言ったり書いたりしている。<br>・自分のペアや相手のペアの特徴に応じた作戦をたてることのできる(ダブルス)。<br>【思】 体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見つけている。<br><br>【態】 危険の予測をしながら、回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。                   | ○  | ○ | ○    | 1  |
|   |   |   |   |  |   |      | 13 |
|   |   |   |   |  |   |      | 12 |
| 2<br>学<br>期   | ・自チームや相手チームの特徴に応じた作戦を立て、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、状況に応じたパスやドリブル、シュートなどのボール操作と攻守などのチームメイトと連携した動きを高めて、ゲームを展開できるようにする。   | ・バスケットボール   | 【知】 自己の狙いに応じ効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、言ったり書いたりしている。<br>・状況に応じたパスやドリブル、シュートなどのボール操作と攻守など、チームメイトと連携した動きをすることができる。<br>【思】 体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見つけている。<br><br>【態】 危険の予測をしながら、回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。 | ○  | ○ | ○    | 9  |
|   |   |   |   |  |   |      |    |
|   |   |   |   |  |   |      |    |
| 3<br>学<br>期   |   |   |   |  |   |      |    |
| 配 当 合 計 時 間   |   |   |   |  |   | 35   |    |

橘高等学校定時制 令和8年度 教科 外国語 科目 論理・表現 I 年間授業計画

教科 : 英語 科目 : 論理・表現 I 単位数 : 2単位

対象学年組 : 第3学年 三修制

教科担当者名 : (3年三修制 )

使用教科書 : ( VISTA Logic and Expression I )

使用教材 : (なし )

科目 論理・表現 I の目標 : 英語の基礎知識を復習し、中学英語の定着と高校英語への発展を目指す。

| 【知識及び技能】                         |  | 【思考力、判断力、表現力等】  |  | 【学びに向かう力、人間性等】     |   |      |               |
|----------------------------------|--|---|--|--------------------|---|------|---------------|
| 英語の基礎知識を身に着ける。<br>英語の検定にチャレンジする。 |  | 知識を活用しながら自分を表現する力を身に付けている。  |  | 主体的に学習に取り組もうとしている。 |   |      |               |
| 単元の具体的な指導目標                      | 指導項目・内容  | 評価規準  | 知  | 思                  | 態 | 配当時間 |               |
| 1<br>学期                          | 比較 (比較級/最上級/as...as ~)<br>助動詞① (can/may)<br>助動詞② (must/have to/should) | 日常生活/対話での驚く表現を学ぶ。<br>日常生活/スピーチの場面で、理由を述べる表現を学ぶ。<br>地域での活動/ホームページで、事実を伝える表現を学ぶ。  | 【知】 進行形や助動詞を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。<br>【思】 進行形や助動詞を用いて、提示された写真について、考えや気持ちを話して伝えている。<br>【態】 進行形や助動詞を用いて、提示された写真について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。                                   | ○                  |   | ○    | 4<br>12<br>11 |
| 2<br>学期                          | 受動態<br>不定詞① (名詞的用法) / 動名詞<br>不定詞② (副詞的用法/形容詞的用法)<br>分詞 (現在分詞/過去分詞)     | 日常生活/対話の場面で、同意する表現・図表の説明を学ぶ。<br>学校生活/スピーチの場面で、順序を述べる表現を学ぶ。<br>社会生活/ホームページ/プレゼンテーションの場面で、出典・引用を示す表現や例示の仕方を学ぶ。<br>本・新聞・雑誌/意見・感想文の場面で、意見を述べる表現を学ぶ。 | 【知】 不定詞・動名詞を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。<br>【思】 不定詞・動名詞を用いて、好きな動物について、健康に関することや空いた時間について、考えや気持ちを話して伝えている。<br>【態】 不定詞・動名詞を用いて、好きな動物について、健康に関することや空いた時間について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。 | ○                  | ○ | ○    | 12<br><br>12  |
| 3<br>学期                          | 関係代名詞<br>仮定法 (If ~ / I wish ~)   | 日常生活/対話の場面で、同意する表現・図表の説明を学ぶ。<br>学校生活/スピーチの場面で、順序を述べる表現を学ぶ。<br>社会生活/ホームページ/プレゼンテーションの場面で、出典・引用を示す表現や例示の仕方を学ぶ。<br>本・新聞・雑誌/意見・感想文の場面で、意見を述べる表現を学ぶ。 | 【知】 関係代名詞・仮定法を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。<br>【思】 関係代名詞・仮定法を用いて、国際協力やSDG'sについて、考えや気持ちを話して伝えている。<br>【態】 関係代名詞・仮定法を用いて、国際協力やSDG'sについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている。                       | ○                  | ○ | ○    | 9<br>10       |
| 配 当 合 計 時 間                      |  |   |  |                    |   |      | 70            |

橘高等学校定時制 令和08年度 3年三修制 産業ビジネスマナー 年間授業計画

教科 科 : 産業 科目 : 三修制 産業ビジネスマナー 単位数 : 1単位

対象学年組 : 第3学年1組

教科担当者名 : ( 3年三修制 )

使用教科書 : ( なし、 補助プリント使用 )

使用教材 : ( PC )

科目 産業ビジネスマナーの目標 : 希望進路実現のために計画的に準備を進めて、進路活動に役立てる。

| 【知識及び技能】                                   |  | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】  |   |   |      |   |
|--|--|---|---|---|---|------|---|
| 希望進路実現のための基礎的な知識を身に付け、自ら課題を探求し、解決する能力を備える。 |  | 進路活動で基本的な知識を活用しながら理解する力を身に付けている。  | 主体的に進路活動に取り組もうとしている。  |   |   |      |   |
| 単元の具体的な指導目標                                | 指導項目・内容  | 評価規準  | 知   | 思 | 態 | 配当時数 |   |
| 1<br>学期                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>希望進路実現のために計画を立てる。</li> <li>希望進路先の情報を調査する。</li> <li>奨学金について調べて、活用する準備をする。</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>進路の手引きを参照しながら基礎的な仕組みを指導する。</li> <li>端末を活用して学校案内・オープンキャンパスの情報を取得する。</li> <li>端末を活用して就職希望先の情報を取得する。</li> <li>奨学金の申込書期限を確認する。給付型・貸与型の対象者を確認する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>【知】希望進路実現のため計画を立てようとしている。</li> <li>【思】希望進路先の優先順位を比較しようとしている。</li> <li>【学】進路先の情報を取得して、進路活動に備えようとしている。</li> </ul>                            | ○ | ○ | ○    | 5 |
|  |  |   |   | ○ | ○ | ○    | 6 |
|  |  |   |   | ○ | ○ | ○    | 5 |
| 2<br>学期                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>作文練習を通して目的を理解し、要点をとらえる技能を身に付ける。</li> <li>面接練習を通して、受け答えの方法を考え出し、それを理解する力を身に付ける。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>作文練習の必要性について理解させる。(基本的な漢字)を確認させる。</li> <li>面接練習の必要性について理解させる。(お辞儀の角度、姿勢)を確認させる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>【知】作文で課題の意味を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。</li> <li>【思】実際の行動を用いて、指示された通りに表現し、面接官の質問に対して正対した受け答えができる。</li> <li>【学】主体的に進路活動に取り組もうとしている。</li> </ul> | ○ | ○ | ○    | 9 |
|  |  |   |   | ○ | ○ | ○    | 5 |
| 3<br>学期                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>進路活動を通して、自分自身を表現することの重要性を理解させる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>進路活動を振り返り、自分自身の課題を見つけ出せるようにする。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>【知】課題を理解し、意味や要点を捉える技能を身に付けている。</li> <li>【思】課題解決の方策を具体的に思考することができる。</li> <li>【学】。主体的に進路活動に取り組もうとしている。</li> </ul>                            | ○ | ○ | ○    | 5 |
| 配 当 合 計 時 間                                |  |   |   |   |   | 35   |   |